

## 第3次朝来市総合計画

人と人がつながり幸せが循環するまち  
～対話で拓く朝来市の未来～

### ありたいまちの姿

- ① 「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む
- ② 人と自然が共生しながら地域で循環する産業を確立する
- ③ 多様なつながり・交流を育み、地域力をより高める
- ④ **誰もが居場所や役割を持ち、健幸で心豊かな暮らしを実感できる**
- ⑤ 市民の暮らしを支える安全・安心な都市基盤を持続する
- ⑥ まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行財政運営を実現する

④の中に6つの目標があり、うち高齢者に関する施策の目標は以下の2つです

- 一人一人が地域とつながる地域共生社会の実現
- いつまでも自分らしく活躍できる高齢社会の実現

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画との整合性をもたせています

## 高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画

### 基本理念

高齢者が生きがいを持って、安心・安全に自分らしく生活できるまちづくり  
～地域包括ケアシステムの深化・推進～

### 基本目標と施策の方向性

#### ① ここで年を重ね、暮らし、人生を全うするための体制づくり

高齢者の困りごとに対応する総合相談体制を充実させ、同時に地域や介護支援専門員等が連携した体制を検討する「向こう三軒両隣会議」を充実しつつ、つながり支え合う地域づくりをめざす。また、身近な所で参加できるフレイル予防・介護予防の取り組みを推進し、認知症になっても住み慣れた地域で暮らせる体制づくりを推進する。

#### ② 住みやすい環境づくりの推進

高齢者の暮らしの安全を重視した適切な住宅改修を行い、安全な外出支援や交通手段が確保できるよう検討し、万が一の際の緊急通報システムの利用をすすめる。自宅以外の住宅、福祉施設サービスを確保する。

#### ③ 生きがいづくりと安心・安全な暮らしへの支援

高齢者の多様な活動の支援を行うため、老人クラブの活動や朝来市健康福祉大学、地域のスポーツクラブの推進など健康や生きがいづくり、仲間づくりなどを推進する。また、働くことを希望する高齢者の就労支援をすすめ、朝来市シルバー人材センターと連携した高齢者の能力を活用した社会参加をすすめる。

### 人口動態から見た朝来市の課題

生産年齢の減少は必至で、75歳以上の人口が徐々に増加する。引き続き介護予防の推進、高齢者の活躍の場作り、地域の支え合いの推進、介護人材の確保等が重要視される。

### 調査結果から把握した課題

- ① 高齢者の居場所づくり、地域活動促進への参加
- ② 近所付き合いの復活と助け合いのこころの醸成
- ③ いざという時の情報収集と周知・啓発
- ④ 介護予防への取り組みの促進
- ⑤ 認知症に対する支援対策の促進
- ⑥ 在宅生活を送るためのサービスの充実・介護者支援
- ⑦ 介護人材確保及び育成に対する支援

#### ④ 適切な予防と介護サービスの提供

高齢者の心身の健康を保持するため、病気の予防と食事や口腔ケアの必要性を啓発するとともに、総合事業対象や要支援認定者が、地域の体操の場や介護予防サービスにつながるよう通いの場を確保する。

#### ⑤ 適切な介護サービスの提供と質の向上

介護を必要とする高齢者が、住み慣れた地域でできるだけ自身でできることを維持しながら生活できるよう、居宅サービスに重点をおいたサービス提供の充実をはかる。